

審議会等議事概要

和元年度 第1回滝川市いじめ防止専門委員会 議事概要

日 時	令和元年9月20日(金) 15:22~16:23
開催場所	滝川市役所 7階 701会議室
出席者	委員: 富家直明委員、中村泰江委員、豊田収委員 事務局: 山崎教育長、田中部長、廣瀬指導参事、寺嶋課長、佐藤主査、秦野事務補
議 事	<p>1 開 会 進行: 寺嶋課長</p> <p>2 教育長挨拶 山崎教育長</p> <p>・滝川市でしばらくいじめに係る事件が起きていないことは喜ばしいことだが、全国では「教育委員会の嘘つき」と書き残して亡くなった方や、いじめ防止対策推進法等のいじめ防止の法律に対する批判など、いじめを取り巻く別な意味での賛否両論も出ていると思う。学校を通じ、いじめ未然防止というものを主に様々な取り組みを継続、拡充をしていると認識しているが、完全に把握することは難しいため法律の関係でもめていたと思う。今後とも、本日も含めてみなさんのご尽力を期待させていただいておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>3 委員紹介 事務局より新任委員の紹介(高野委員欠席)</p> <p>(以後の進行は会長による)</p> <p>4 議 題</p> <p>(1) 報 告</p> <p>i 市及び市立学校におけるいじめの防止等に係る取組状況について</p> <p>ii いじめアンケート調査(1回目)の結果概要について</p> <p>iii 滝川市子どものいじめ防止基本方針概要版について</p> <p>i~iiiについて、佐藤主査より報告</p> <p>質疑応答 委員)</p> <p>・いじめアンケート調査について、回収率が96.9%ということで、氏名記入率が非常に高い。この種のアンケート調査の回収率が100%ということにはなかなか現実的に難しいと思うが、その中で非常に高い回収率を毎年続けているということで、これは大変学級現場においても相当この調査に関しては</p>

大切に、意識をもって実行されているのではないかという感想を抱いた。まだ声を出せない子がいるという可能性がないとは言えないと思うが、不登校の子ども家庭にも送られているということで、そこまで努力をされていることはよく伝わってきた。

委員)

- ・資料 No. 2②調査方法で、「道教委調査「いじめの把握のためのアンケート調査」に基づく実態調査」と記載されているが、これは北海道教育委員会が作成し、全道一斉に行っているいじめアンケートと同じものなのか。もしくは滝川で少し変更箇所があるのか。

事務局)

- ・文言は全て同じである。いじめが許される、または許されない理由の欄は道教委のアンケートにはない。欄を設けたり、付け加えたりすることは構わないということになっている。

委員)

- ・集計データの7の「あなたは、いじめはどんなことがあっても許されないことだと思いますか。」という問いで、1・2年生で「そう思う」が88%、「そう思わない」と堂々と宣言する子が2%ということで、例年この数が変わらない。そして小学校3～6年生の集計になると、少し減っている。平成30年11月では「そう思わない」が2%で24人いたのに対し、令和元年6月調査では1%ということで、パーセントにして1つ、それから実数、人数にしては随分減り、努力されたと思う。小学校3～6年生で何か子どもたちに対する、いじめ防止等の指導が背景にあり変化が出たのではないか。偶然変化があったのかもしれないが、何か現場で努力したことがあれば、教えていただきたい。

事務局)

- ・特にその点についての話は直接聞いていない。しかし、日々の指導の賜物かと思う。「いじめは許されない」ということを常に伝える先生方の姿勢が子どもたちの知性に繋がると考えている。ただ、「そう思わない」「よくわからない」と回答した子どもの理由の中に、先ほど「原因がいじめられる側にもあるのではないか」とお伝えしたが、それ以外として「いじめ自体がよくわからない。」という子どもが実際にいる。そのように考えた子どもが低学年・高学年にいて、結局はいじめという定義がしっかりと定着していないと考えている。なかなか定義自体を子どもたちに定着させる指導や、具体的に「こういういじめはだめ」ということを先生方も伝えることが難しいと思う。有効な手立て等ございましたら教えていただきたい。

委員)

- ・ある意味、いいことだと思う。平和で周りにそのような事象がないということだと思うが、ただ、「そう思わない」とはっきりいじめを肯定する積極的な考えを持っている子どもがいる。例えば方針を変えてこの「この心の花を咲かせよう」というパンフレットを今年の4月に作成・配布を行い、子どもたちに改めて情報を届けるような努力をされたと思う。そのようにこちらが新しく情報提供したことに対し、少しでも減ったとすれば良い。

事務局)

- ・「いじめは許されないことだと思いますか。」の質問に対して、1・2年生の「そう思わない」の数が多いのではないかとおっしゃっていたが、私が聞いた低学年の話で、「いじめが許されない」というこの文言を捉え、ある子どもが「僕がいじめられたとしても、いじめた子が謝ってくれば僕は許す。だから許さないということではない。」という意味で「そう思わない」と答えた子どももいるという話を聞いた。

委員)

- ・そうなる設問ももう少し丁寧にしなければならない。設問の意図がずれて伝わったのであれば、それほど深刻に考える必要がないのかもしれない。

委員)

- ・7の「いじめはどんな理由があっても許されないことだと思いますか。」という質問は以前からあったと思うが、その理由は個別に聞きとったというのか。

事務局)

- ・個別に聞き取っている。

(2) 協 議

- i 滝川市いじめ防止専門委員会の事業計画について
- ii いじめに関する通報・相談状況について
- iii いじめ認知状況について
- i～iiiについて、佐藤主査より説明

質疑応答等

特になし

5 次回の会議開催

予定日：令和2年2月上旬（予定）

	6 閉会
会議資料	会議次第